

ために必要なことだと感じました。



高山本店の入り口

古書店と神保町

次に古書店について伺いました。神保町は、古書店総数が少ないときは80軒ぐらいしかなかったそうです。しかし、現在では神保町の古書店は130店舗ほどまで増えてきました。その要因としては、逆説ながらインターネットが普及したことです。そして、その結果として家賃が安い裏道のビルの中にもお店を開く事が出来るようになりました。

インターネットの普及により百科事典、辞書など資料やリファレンスのものは価値が少なくなりました。Googleで検索すればよくなってしまったからです。逆に1冊しかないもの“only one”が売れるようになったそうです。これは例えばマニア向けの本、作家が書いた手紙などで、これらの価値はとて高くなったそうです。また、インターネットの普及により海外から注文を受けるようになったと高山さんは話しました。

ネット社会になったことで、お店の大きさに関わらず、古本の在庫などを検索することができるようになりました。古書店をどこでもいつでもオープンできるようになったのです。ネット社会は、悪い面だけではなく、人をつなげてくれる良い面もあるようです。

さらに、新型コロナ禍で神保町の本屋街に足を運ぶことの出来ない人たちのために、「[BOOK TOWN じんぼう](#)」というサイトを立ち上げられました。ここでは、360度パノラマ写真により店内を眺めることができますのでぜひ見てみてください。時代の流れに合わせた技術で神保町古書店の魅力を発信し続けています。

街の再開発

次に神保町の再開発についてもお話を伺いました。今、千代田区は再開発に取り

組んでおり、神保町も対象になっています。街づくりのうえで大切なのは人々の記憶に店が残ることだといいます。というのは、歩道からアクセスできる路面店ではなく、店舗がビルの奥に入ってしまったお店はなかなか人々の記憶に残らないからです。それは今の神保町のあり方と大きく異なってきてしまいます。

そのために、神保町の開発では、一階の路面は商店にし、機能の面を重視すべきであり、採算性だけを考えるのではなく地元の商業文化を残せるようにすることが必要と話します。

しかし、年々、土地の価格が上がっているため、家賃の問題が課題に挙げられます。街づくりにおいて家賃は議論されていないそうですが、「家賃に焦点を当てることは今後、神保町が「物語のある街づくり」を進められるかどうかに関わってくる」と高山さん。開発は、街とともに進められる、それを強く感じました。

バリアフリーを促進する神保町

「障害者の方も健常者の方と同じように神保町を楽しんでほしい。」

高山さんは、バリアフリーの重要性についても語りました。安心して街に来られるインフラを整備することは、必要不可欠であり、商店街の使命であると話し、障害者トイレ設置を促進されています。

さらにインフラを整備するには「行政だけではできない、商店街がやらなければいけない」とおっしゃっておられました。街づくりは、住んでいる人が率先して行動に移すことが、街の発展につながると感じました。

今では、高山さんの思いに賛同してくれた銀行や店舗が障害者トイレ設置を案内しているそうです。そして、バリアフリーを促進するチャンスとなるのが、パラリンピックです。残念ながらコロナ禍により、無観客での開催ですが、パラリンピックを機にバリアフリーの整備することで、より多くの方が神保町に足を運んでくださる機会が増えます。多くの方のニーズに沿った街づくりを進めるきっかけに、パラリンピックは重要だそうです。

さらに、子育てが楽しいと思える街も目指していると述べました。北沢書店のbookcafeで親子対象の演奏会を行ったそうです。それがとても良かったそうです。「子どもに優しい街にしたい」と語られました。「社会性・公共性を商店街の街づくりの中に取り組んでいくことがこれからの街づくりにポイントだ」と高山さんが言うように、今後誰もが楽しめる街づくりを考え、行動することが大切なのだと思います。





最後に

高山さんが「子育てが楽しいという社会を作りたい」と語られたのが、印象的でした。高山さんの言葉は、神保町の街づくりだけではなく、日本の街づくり、さらに日本社会が抱える問題を的確に指摘しており、街づくりから見える日本の課題を改めて考えさせられました。

誰もが「楽しめる街」、ハンディキャップを持った方でも楽しめる街づくりは、今後の「街づくり」において重要になっていくと感じます。街も人も多様に富んだ社会を築き上げるために、私たちは学び続けるのだと思います。

高山さん、この度はお忙しい中お時間をいただき、ありがとうございました。

[Home](#) : [インタビュー](#) : [神保町のまちづくりをどうしたらよいか、ダイバーシティにどう取り組むか？](#) — 高山本店4代目社長、高山肇さんに訊く

2021-09-01 by jimbocho_admin

[神保町](#)、[コーヒー](#)、[明治大学](#)、[SDGs](#)

関連記事



インタビューNo.2: エルサルバドルの生産者とつながる COYOTEの試み (門川雄輔さん、COYOTE マネージャー、元エルサルバドルJICA海外協力隊)



インタビュー「神保町の個別性、多様性 — これからの神保町を考える」(石橋毅史さん、『口笛を吹きながら本を売る』著者)



知られざるアフリカの妊産婦事情 — 藤田由布医師のニジェール体験記



エチオピア・森のコーヒープロジェクトの取り組み



スティグリッツ教授(ノーベル経済学受賞者)との意見交換の動画を公開

このプロジェクトについて

神保町コーヒープロジェクトは神保町発でさまざまなコーヒーの情報発信をしていくものです。コーヒーを軸に「神保町の街づくり」と「SDGs」（持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals）に取り組めればと思っています。

twitter

@JimbochoCさんのツイート

神保町コーヒープロジェクトさんがリツイートしました



on a slow boat to...
@slwboat2

神田猿楽町でお店を始めて早8ヶ月目。MeidaiEcoHoneyの明治大学大森ゼミとの交流に始まり、神保町コーヒープロジェクトの島田ゼミとの交流、そしてふらっと神保町をへて大和屋履物店さんとも繋がり、手拭いをいただきました。(続く)



埋め込む

Twitterで表示

facebook

神保町コーヒープロジ...

このページに「いいね！」 25 件の

140周年 明治大学 共創の未来へ

多様なアクター(主体)とつながり

グローバル 地域 キャンパス

UNHCR難民高層教育プログラム(RHEP) SDG+を掲げた観光まちづくりの推進 コーヒーからみる世界と日本 -神保町コーヒープロジェクト-

明治大学 × SDGs

神保町コーヒープロジェクト

約1週間前

アムにちけ！島田ゼミです！

神保町コーヒープロジェクト